

# 修得単位の目安

1年生修了時	・ ・ ・ ・ ・	40単位
2年生修了時	・ ・ ・ ・ ・	80単位
3年生修了時	・ ・ ・ ・ ・	118単位
卒業単位数	・ ・ ・ ・ ・	126単位

\* 3年次への進級条件

「基礎ゼミ ・ 」及び1年次の必修科目を含み36単位以上修得していること。

## 授業科目について

### 1. 学科共通科目群

学科共通科目群は、同（言語）、同（情報科学）の2系列に分かれています。これらの各科目群のうちから所定の単位以上を修得する必要があります。

#### (1) 学科共通科目群（言語）

国際人文学部国際文化学科の基本をなす科目であり、国際化社会に生きるための教養としての言語、さらに専門分野の学修に必要な言語を学ぶための科目を配置しています。学科共通科目群では、第一外国語として英語を学びます。うち、Fundamentals of English ・、Oral Fluency ・は必修科目です。Fundamentals of English、Oral Fluencyを履修するためには、それぞれのを修得していることが条件になります。

#### (2) 学科共通科目群（情報科学）

これからの情報化社会で必要とされる、パソコンやインターネットなどについての知識と技能を修得し、実務能力を養う科目を配置しています。

「コンピュータ技能」履修後に、Microsoft Office Specialist（通称MOS）を受検することを推奨しています。

### 2. 学部コア科目群

学部コア科目群は、国際交流学科と共通する科目を配置しています。グローバル化する文化や社会、コミュニケーションのありかたを多様な切り口から学び、国際化社会に生きる人間としての教養を身につけ、人文学を学ぶことの意義を明確に理解していきます。

なお、留学を予定する者は、「留学プランニング」を履修することを推奨しています。

### 3. 専門基礎科目群

3年次以降に選択する専門分野の基礎について学ぶ科目群です。言語、文学、美術、映像、政治、経済、社会、法律、ジェンダー、歴史、比較文化、スポーツなどの科目及び関連科目を配置しています。

### 4. 専門科目群および専門関連科目群

国際文化学科の専門科目群は、「国際日本」「東アジア」の2つの系列に分かれています。「比較文化コース」「日本文化コース」「中国言語文化コース」「韓国言語文化コース」のいずれかのコースを選択し、

2つの系列の科目群から所定の科目を履修し、単位を取得します。そして、4年次には各自の研究内容や活動内容を文章や作品の形で集大成することになります。したがって、どの系列・コースを選択するか、1年次から「学科共通科目群（言語）」「専門基礎科目群」を計画的に履修し、系統立てて学習することが必要となります。

(1) 専門科目群（国際日本）

「世界から見た日本、日本から見た世界」を基本理念に、日本語、歴史、文学、美術、女性、視覚文化の日本文化を国際的視点から見直し、また世界に発信しうる力を養う科目を配置しています。また、日本文化を相対的に理解するために、南北アメリカやヨーロッパなど各地域の文化について学ぶ科目も配置しています。

(2) 専門科目群（東アジア）

日本が過去および現在、未来にわたって密接な関係を持ち、今後も相互の関係の発展が求められる中国、韓国を中心に、その言語、文化、社会、経済を総合的に学んでいきます。また、日本との比較の視点を組み込みながら深く追究し、将来的にビジネスの世界で活躍できる知識や視点を身に付けていきます。

(3) 専門科目群（演習・研修） <2014年度生・2015年度生>

基礎演習、キャリア形成演習、国際文化演習、研修・インターンシップの3系列を含みます。

「基礎演習」はそれぞれ1年次、2年次の必修です。大学で学ぶための基礎的な学力を身につけ、専門分野への導入を目的としています。

「キャリア形成演習」は、2015年度生からの2・3年次必修です。キャリア形成への意識開発を目的としています。

「国際文化演習」は、3年次、4年次の必修です。それぞれ2年間ずつ続けて同じ演習を履修し、4年間の学びや活動の集大成として作品を制作したり、報告書や卒業論文としてまとめます。

研修の内容は、「インターンシップ」「コミュニケーション・インターンシップ」「国際文化研修a（海外）」「国際文化研修b（国内）」「グローバル研修」「地域プロジェクト」であり、いずれが1科目を選択することになります。「インターンシップ」では、企業や各種団体において一定期間の就業体験をします。「コミュニケーション・インターンシップ」は、海外において日本語教授の実習を行うもので、日本語教員養成プログラムの一環でもあります。「国際文化研修a・b」は、海外あるいは国内に設定されたコースで研修を行い、当該地域の文化を現地において体験もしくは身をもって経験し、新たな知識と視野を獲得することを目的としています。「グローバル研修」は全学部共通科目の海外研修プログラムであり、前提履修科目があります。「地域プロジェクト」は、地域活性化を担うことができる人材育成を目的としています。

2011～2013年度生は以下の内容になります。

専門科目群（プロジェクト研究・研修）は、基礎ゼミ、プロジェクト研究、研修の3系列を含みます。

「基礎ゼミ」はそれぞれ1年次、2年次の必修です。大学で学ぶための基礎的な学力を身につけることや専門分野への導入、およびキャリア形成への意識開発を目的としています。

「プロジェクト研究」は、1～4年次の必修科目です。「」では研究法を含む初歩的な内容を実践的に学び、「」では4年間の学びや活動の集大成として作品を制作したり、報告書や卒業論文をまとめていきます。

研修の内容は、「インターンシップ」「コミュニケーション・インターンシップ」「グローバル研修」「国際文化研修」「地域プロジェクト」「海外活動」であり、いずれも選択科目です。「インターンシップ」では、企業や各種団体において一定期間の就業体験をします。「コミュニケーション・インターンシップ」は、海外において日本語教授の実習を行うもので、日本語教員養成プロ

グラムの一環でもあります。「国際文化研修」は、海外あるいは国内に設定されたコースで研修を行い、当該地域の文化を現地において体験もしくは身をもって経験し、新たな知識と視野を獲得することを目的としています。「グローバル研修」は全学部共通科目の海外研修プログラムであり別途説明会を行います。「グローバル研修」は全学部共通科目の海外研修プログラムであり、前提履修科目があります。「地域プロジェクト」は、地域活性化を担うことができる人材育成を目的としています。

## 5. 専門関連科目群

大学における学びと卒業後の活動や仕事とを結びつける科目が配置されており、将来の進路目標にむかって、学業と並行してキャリア形成を行います。国際的な場で仕事をするための知識や視点を修得する科目、学芸員および専門職に必要な知識や技能を修得する科目、資格取得や検定試験合格を目指す科目が設置されているので、個々の目標を立てて履修していくことをすすめます。

## 6. Global College 科目群

世界で通用するグローバル人材を目指して、ビジネス、政治、異文化理解、文化、文学など幅広い教養を英語で学ぶことができる科目を配置しています。

## 7. 特設科目群

本学部の専門分野の知見を深めたくうえで、さらにグローバル化社会を担う人材となるために海外において語学を学び、プロジェクトに参加して語学実践力を養うことを目的とした科目を配置しています。

## 8. 自由科目群

自由科目とは、卒業に必要な単位数に加算されませんが、自由に選択履修することのできる科目であり、教育職員免許状と学芸員資格取得に関する科目を置いています。

中学校教諭一種免許状	国語	英語	社会
高等学校教諭一種免許状	国語	英語	地理歴史
学芸員			